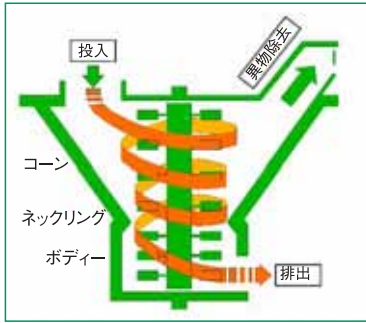


廃棄物処理専用開発された
破砕機

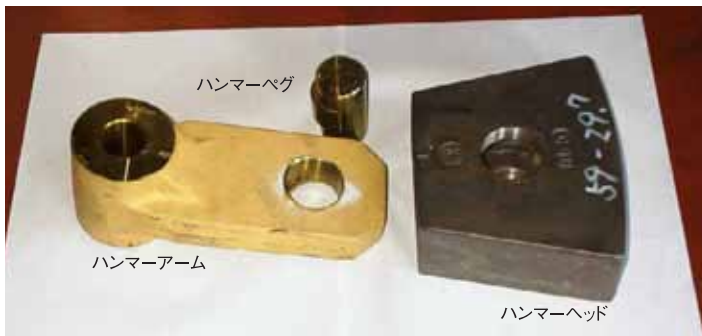
豎型高速回転破砕機

特徴

- 自然落下を利用したシンプルな構造の豎型破砕機で、広範囲の廃棄物に対応可能
- 高速回転により大量の排出気流が発生するため、爆発事故の原因であるガスが滞留しにくい
- スイッチひとつで回転方向を変えられ、また、ハンマーは摩耗した部分のみ交換可能



破砕処理工程イメージ図



58型破砕機ハンマーAssy

概要

(技術の原理・動作等)

広範囲の廃棄物に適用

上部から投入されたごみは、コーン部を自然落下しながら粗破砕される。破砕できない異物は、ハネ出し口から自然除去される。ハンマーとボディとの間隔が最も狭いネックリング部で細かく破砕され、下段のボディ部では、ハンマーとボディライナーの間で更に破砕された後、破砕物は排出口より排出される。

上部から順次細かく破砕されていくため、定量供給や嵩張るごみの事前破砕、減容を目的とした供給フィーダを設置する必要はない。

高い安全性

破砕機の爆発原因として圧倒的に多いのが、機内に滞留した可燃性ガスが引火し、爆発に至るケースである。本破砕機は、高速回転するハンマーによって、大量の排出気流が発生するため、機内換気が良い。これは、ファンに似た構造をしている本破砕機の特徴である。



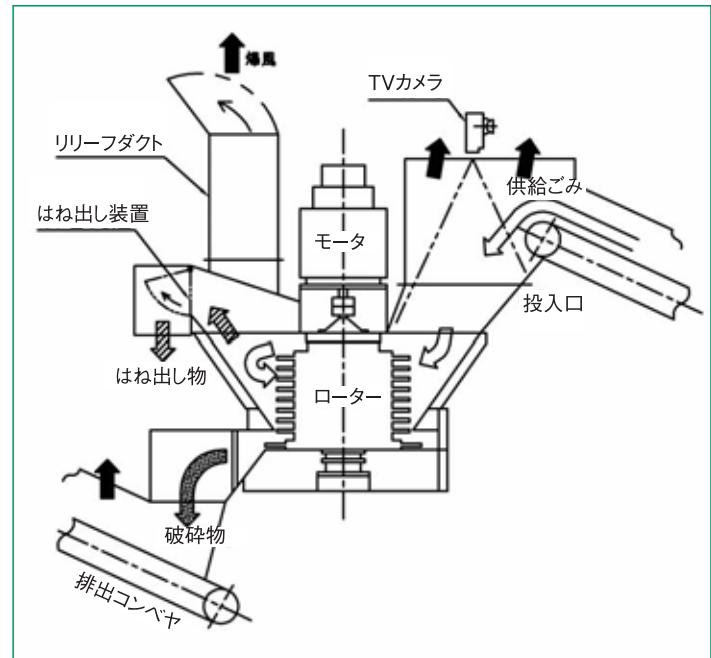
極東・トレマッシュエ58型破砕機

操作性、メンテナンス性

本破砕機は、スイッチひとつで回転方向を変えることができる。これにより、ハンマー、ライナーの両エッジを均等に使用することが可能である。

テレビカメラにより機内の監視ができるため、破砕状況の把握、火災等の異常を早期発見でき、安全な運転管理ができる。

破砕機の中で最も消耗の著しいハンマーについては、ハンマーアームとハンマーヘッドの2つの部分に分け、ハンマーベグと呼ぶ部品にてジョイントし、ハンマー交換は摩耗したヘッド部のみとしているため作業が簡単で経済的である。



破砕機構造説明図

効果

低コスト、省エネ

破砕機の付帯設備である振動コンベヤ、供給フィーダ、防振装置等が不要であり、その分インシナルコストが安くなる。ランニングコスト面では、下記理由より電動機容量を低くすることができるため、省エネルギーといえる。

- ① 徐々に細かく破砕していくため、一時的な過負荷を発生しにくい。
- ② 自然落下を利用しているため、ごみをかき上げるための余分な動力を必要としない。
- ③ 前述の付属設備のランニングコストも発生しない。

また、ハンマー交換は摩耗したヘッド部のみとしているため経済的である。

適用分野
廃棄物処理

水

省エネ・エネルギー回収

蓄エネ・創エネ

新エネルギー

再資源・省資源
廃棄物処理

大気

土壌

その他

極東開発工業株式会社 環境事業部 〒663-8545 兵庫県西宮市甲子園口6丁目1-45

● TEL / 0798-66-1010 ● FAX / 0798-66-3432 ● E-Mail / ktp@kyokuto.com ● http://www.kyokuto.com/